

発明の名称	糖代謝促進剤並びに肥満及び糖尿病治療薬のスクリーニング方法 (特許第 4534039 号)	
学内発明者	久保原 禪(元生体調節研究所) 柴田 宏(生体調節研究所)	
技術分野	糖尿病治療薬	IP16-078
発明の概要	肥満および糖尿病などの疾患の予防薬又は治療薬として有用な糖代謝促進剤を提供することを目的に、肥満及び／又は糖尿病治療薬のスクリーニング方法を提供する。	
説明図	<p style="text-align: center;">(I)</p>	式(I)で示される化合物を糖代謝促進剤の有効成分とする。
ポイント	本発明の化合物は、各種細胞に対して顕著な糖代謝促進作用を有するため、糖尿病や肥満などの疾患の治療又は予防に有効な血糖降下剤として用いることができる。また、インスリン非依存的に血糖を降下させる作用を有するため、インスリン抵抗性の糖尿病や肥満症などに対しても有効に用いることができる。さらに、可逆的に血糖を降下させることができるため、血糖値を厳密にコントロールすることができる。	

発明の名称	抗腫瘍剤(特許第 4496369 号)	
学内発明者	久保原 禪(元生体調節研究所) 保坂 公平(元保健学研究科)	
技術分野	抗腫瘍剤	IP17-018
発明の概要	ディクチオグルコサミンと呼ばれる化合物が白血病由来の細胞株である K562 細胞や HL-60 細胞の増殖を抑制することを見出した。このことから、この化合物が抗腫瘍剤として有用であることを見出し、本発明を完成するに至った。	
説明図		式中、R ¹ は炭素数1～10のアルキル基、炭素数2～10のアルケニル基又は炭素数2～10のアルキニル基を示し、R ² は炭素数1～30のアルキル基、炭素数2～30のアルケニル基又は炭素数2～30のアルキニル基を示し、R ³ は炭素数1～10のアルキル基を示す。
ポイント	上記化合物は、抗腫瘍剤として好適に用いることができる。本発明の抗腫瘍剤は、上記で表される化合物またはその薬学的に許容される塩を有効成分とする。	